

総合振興計画審議会第3回総会後における事務局意見について

項番	項目	事務局意見	事務局対応（案）
1	全体	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について、表記の仕方が揃っていないため、統一の用例を定めるべきである。	御指摘を踏まえ、正式略称である「東京2020大会」に統一しました。
2	全体	政令指定都市について、表記の仕方が揃っていないため、統一の用例を定めるべきである。	御指摘を踏まえ、正式略称である「指定都市」に統一しました。
3	全体	「安心・安全」について、後期基本計画上の用例である「安全・安心」とすべきである。	御指摘を踏まえ、「安全・安心」に統一しました。
4	第1部計画の全体像 第3章時代潮流 第8節持続可能な開発目標（SDGs）の採択	【参考資料1 目次・P13・9行目】 節の名称「持続可能な開発目標（SDGs）の採択」について、採択されているのは、SDGsを含むアジェンダであり、また時代潮流を表すものとして、名称を見直すべきである。	御指摘を踏まえ、以下のとおり修正します。 「持続可能な開発目標（SDGs）の採択」⇒「持続可能な開発目標（SDGs）の主流化に向けた動き」
5	第3部分野別計画 第3章健康・スポーツ 第2節スポーツを活用した総合的なまちづくり 第5部質の高い都市経営の実現 第2章高品質経営市役所 第4節高品質な施策を生み出すための仕組み	【参考資料1 P71・P150・P151】 ICTとICT技術の文言を統一したほうがよい。	ご指摘を踏まえて、ICTに統一。
6	第5部質の高い都市経営の実現 第2章高品質経営市役所 第5節真の分権型社会を担う自主的な・自立的な都市の実現	【参考資料1 P152】 節の名称の中の「自主的・自立的な都市」について「自主的な都市」の意味が不明瞭なため修正したほうがよい。	ご指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「真の分権型社会を担う自主的・自立的な都市の実現」⇒「真の分権社会を担う自主的・自立的な都市経営の実現」

総合振興計画審議会第3回総会後における事務局意見について

項番	項目	事務局意見	事務局対応（案）
7	<p>第5部 質の高い都市経営の実現 第2章 高品質経営市役所 第6節 さいたま市の魅力を発信</p>	<p>【参考資料1 P154】 計画の目指すべき方向性は、都市イメージを向上させることであるため、節の名称を適切な文言に修正した方がよい。</p>	<p>御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「さいたま市の魅力を発信」⇒「さいたま市の特徴を生かした都市イメージの向上」</p>
8	<p>第5部 質の高い都市経営の実現 第2章 高品質経営市役所 第6節 さいたま市の魅力を発信</p>	<p>【参考資料1 P154 7段落目】 重点戦略等では、2つの優位性と4つの強みをまとめて、「5つの魅力」と定義しているため、文言の統一をした方がよい。</p>	<p>御指摘を踏まえて、記述内容の見直しを検討します。</p>
9	<p>第5部 質の高い都市経営の実現 第2章 高品質経営市役所 第6節 さいたま市の魅力を発信</p>	<p>【参考資料1 P155 施策(1)】 「発信」は手段であり、「訪問したい」というイメージを向上することが目指すべき方向性であるため（成果指標とも合致する）、文言を整理した方がよい。</p>	<p>御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「訪問機会創出のための、地域資源などを生かした魅力の発信」⇒「地域資源などの発信による訪問意向の形成」 「環境、スポーツなどの本市の強みや、優位性、伝統産業等の本市の多彩な地域資源と魅力を生かして、訪問機会を創出するとともに、その機会を捉え、市内外に情報発信し、本市への良好なイメージの形成・定着を目指します。」⇒「環境、スポーツなどの本市の強みや優位性、伝統産業等の本市の地域資源を編集集約し、市内外に情報発信することで、良好な都市イメージの定着を目指します。」</p>
10	<p>第5部 質の高い都市経営の実現 第2章 高品質経営市役所 第6節 さいたま市の魅力を発信</p>	<p>【参考資料1 P155 施策(2)】 同様、「発信」は手段であり、「住みやすい」というイメージを向上することが目指すべき方向性であるため、文言を整理した方がよい。</p>	<p>御指摘を踏まえて、下記のとおり修正しました。 「ターゲットを絞った「住みやすさ」に資する強みや優位性の発信」⇒「「住みやすさ」の発信による定住意向の形成」 「創出した訪問機会や本市の強み、優位性などに資する事業を捉え、それらを他市との差別化要因として、戦略的にPRし、「住みやすい」というイメージの形成・定着を目指します。」⇒「教育都市、交通の利便性などの本市の強みや優位性を魅力と捉え、ターゲットを絞って情報発信することで「住みやすい」という都市イメージの定着を目指します。」</p>